

公益財団法人 日本サッカー協会  
2015年度 第9回理事会

## 追認事項

<p>1. 国際協力機構との提携の件</p> <p>JFA、Jリーグ及び独立行政法人国際協力機構（JICA）の三者は、国際的なサッカー交流並びに協働事業に関する協定書を9月17日に締結した。</p> <p>JICAは日本の政府開発援助の実施機関として、開発途上にある海外の地域の経済及び社会の開発若しくは復興又は経済の安定に寄与することを通じ、国際協力の促進並びに我が国及び国際経済社会の健全な発展に資することを目的に技術協力の実施、専門家の派遣、研修員の受入れ、ボランティアの派遣その他の事業を実施し、すべての人々が恩恵を受けることのできる開発に取り組んでいる。</p> <p>近年、特にアジア各国との間で選手や指導者、各国サッカー協会、各国リーグとの交流が盛んに行われている。この良好な関係をより促進させ、それをアジア、世界に広げていくべく、JICAと連携して国際交流事業を促進させることを目指す。</p> <p>なお、本件における協定書の概要と今後の事業予定は以下の通り。</p> <p>■提携概要</p> <p>開発途上地域においてスポーツを通じた人々の健康増進、生活レベル向上や、スポーツを軸とした地域振興のニーズが高まっている。三者はその状況を踏まえ、国際協力における連携推進の重要性を認識する。また、2020年の東京オリンピック・パラリンピックの開催を控え、日本が世界各国とスポーツを通じた国際協力を深化させていくことを目指し、相互に有益な連携関係を構築する。</p> <p>■有効期間</p> <p>2015年9月17日から2020年12月末日まで</p> <p>■主な連携の対象</p> <p>(1) 開発途上地域におけるサッカーを通じた人々の地域開発・振興、健康増進、生活レベルの向上、及び災害復興・平和構築に関すること。</p> <p>(2) 開発途上地域におけるサッカーを通じた国際協力に関すること。開発途上地域への日本人指導者の派遣及び同地域からの研修受け入れ等を通じた、サッカー選手、コーチ、審判、マネジメント関係者等人材の育成及び制度・仕組み等の整備に関すること等。</p> <p>(3) JリーグとJICA国内機関との地域連携に関すること。</p> <p>(4) 開発途上地域における国際サッカー大会運営に関すること。</p>
<p>2. 2016年AFCマッチコミッショナー新規候補者推薦の件</p> <p>2016年AFCマッチコミッショナー（マッチコミッショナーは以下「MC」と表記）に、新規候補者として、下記2名をAFCに推薦した。</p> <p>&lt;新規候補者&gt;</p> <p>知元 明洋（ちもと あきひろ） マーケティング部 部員</p> <p>藤村 昇司（ふじむら しょうじ） Jリーグ特命担当部長</p>

### <新規候補者の選定について>

JFA、Jリーグ及びサッカーファミリーの中から、将来的にサッカー界の国際分野において活躍する人物として適任と思われる者を AFC に推薦する。

### <新規候補者の AFC による認定手順>

新規候補者：

加盟協会から推薦された新規候補者を AFC が適任であると判断した場合、候補者はマレーシアの AFC ハウスで 2015 年 12 月 7～9 日の 3 日間行われる AFC MC セミナーに出席する。セミナー最終日には英語、IT スキル、及び、AFC 競技会の理解度等のテストを受け、これに合格した候補者が 2016 年～2017 年 AFC MC として認定される。

継続 AFC MC[参考] (50 音順) (資格期間)

青木 克史	技術部部長代理	(2014 年～2015 年) *更新予定
江川 純子	国際部部長代理	(2014 年～2015 年) *更新予定
大矢 丈之	Jリーグ国際部 兼 事業・マーケティング統括本部事業部	(2015 年～2016 年)
大谷 憲也	東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会 出向中	(2014 年～2015 年) *更新予定
貝瀬 智洋	財務部担当部長	(2014 年～2015 年) *更新予定
小林 美由紀	JEF ユナイテッド市原千葉レディース U-18 コーチ	(2014 年～2015 年) *更新予定
野上 宏志	マーケティング部部長	(2015 年～2016 年)

### <継続候補者の AFC による認定手順>

2014 年より AFC MC の継続認定が厳しくなり、過去 2 年間に任務を遂行した試合数が 6 試合未満の者、その他、AFC が定める条件を満たさない場合は、新規候補者と同様の英語、AFC 競技会の理解度等のテストを受ける。